

地域産業の担い手育成プロジェクト(建設分野) 平成21~22年度

『将来の長崎県の建設産業を担う人材の育成』 長崎県

事業実施機関 … 長崎県教育委員会、社団法人長崎県建設業協会

連携省庁 … 国土交通省

取組校 … 長崎県立佐世保工業高等学校、長崎県立大村工業高等学校、長崎県立鹿町工業高等学校

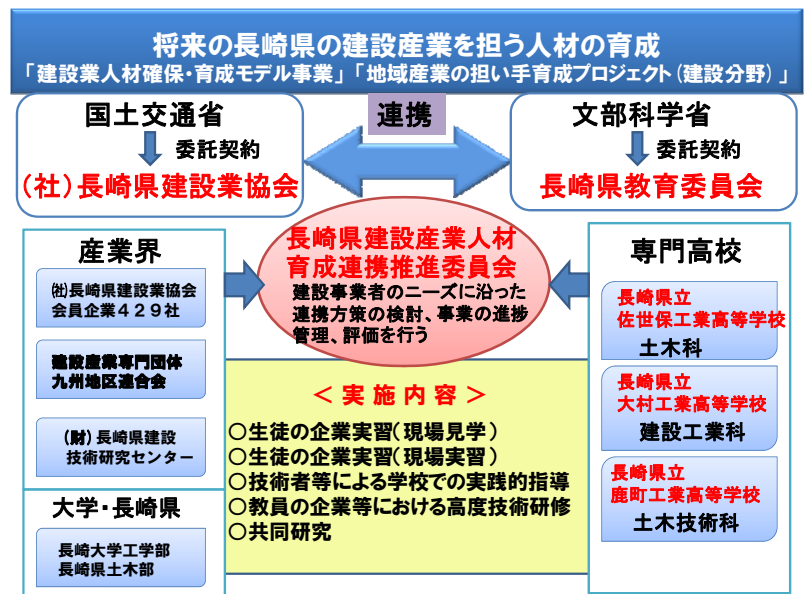
事業目標

土木系学科における地域性・学科の特色を生かした建設産業の担い手人材育成・確保のための教育内容を研究・実施する。また、時代のニーズに対応した実践的な人材育成プログラムを展開する。

事業の概要

将来の長崎県の建設産業を担う人材育成を継続的に実施するために、長崎県建設産業人材育成連携推進委員会を発足させ、より多くの地域の建設関連団体及び企業の協力体制を確立するとともに、大学と専門高校間の連携にも取り組み、地域の建設業界のニーズに応じた専門的職業人を育成する。

また、この事業をとおして、県内就職促進を図るとともに、建設業界における実習訓練と専門高校における教育課程との関連について検討する。



事業内容と成果

《現場実習》

- 内容 ①離島地区建設工事現場実習 ②県発注建設工事現場実習
③地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習
④土木材料基礎実験の現場実習 ⑤建設工事現場実習
- 成果 ①事後のアンケート結果で、地域産業の担い手としての自覚と建設産業に対する興味・関心が67%(H22)、57%(H21)と高まり、21%(H22)、11%(H21)の生徒が学習意欲を高めたと回答している。
②土木工事の作業を実際に体験することで、現場における作業手順や様々な安全管理の重要性を、実践を通して学習することができ各実習における達成感を得た。
③土木構造物(橋梁)の長寿命化を図るための調査・点検方法を、長崎大学工学部インフラ長寿命化センターの指導で学び、土木構造物の地域社会に果たす重要な役割と維持管理の必要性を学んだ。作成した点検シートを管理する自治体と長崎大学に提出し、授業の成果が具体的に地域社会に貢献できた。



《講師招へい》

- 内容** ①建設現場安全教育（作業員編：1年生、職長編：2・3年生） ②建設工事現場見学オリエンテーション ③地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習事前講習 ④出前講座「多自然型河川」（H21）・「道路ができるまで」（H22） ⑤鉄筋・型枠基礎技術の習得 ⑥鉄筋の組立て基礎技能講習 ⑦「土地と境界線」と測量技術講習 ⑧2級土木施工管理技術検定（学科）対策講習
- 成果** ①学ぶ目的・意識が明確となり、興味・関心が高まった生徒の就業意欲は、依然高水準（87%（H22）・89%（H21））である。
②アンケート調査において、地域建設業界が高校卒業者に最も求めている資格の2級土木施工管理技術検定（学科）合格者数が45名（H20）から66名（H21）、56名（H22）と、講師招へい実施前の平成20年度と比較すると、それぞれ21名増、11名増となった。建設業就職の動機付けの一要因となった。
③安全教育など専門的な基礎知識が必要な講習では、学年を経るにつれて、学習内容の理解や学習意欲の向上が図られている。
④解らないことを素直に聞ける誠実さ、コミュニケーションの重要性が理解でき、自己の技能・技術と人間力の向上が不可欠であると身をもって体験することができた。



《共同研究》

- 内容** ①自転車通行環境整備に関する共同研究（大村工業高校）
②鉄筋加工・組立て実習モデルの研究（鹿町工業高校）
- 成果** ①建設産業への就職を希望している生徒が大半を占めていたこともあるが、取り組んだ生徒は100%（満足87%、やや満足13%）満足している。企業等との共同研究をとおして、地域産業の担い手としての自覚と建設産業に対する興味・関心が87%に高まった。
②社会基盤整備の重要性と安全性や土木技術の役割とその計画性・探究心・行動力の重要性を学び、地域社会の活性化に貢献する意欲を向上させることができた。
③この研究に参加した生徒達自身が実際に実習している映像を基に「鉄筋の組立て技能実習ガイド SHIKAKOU2011」をDVD映像教材として制作し、地域の鉄筋工事業協同組合と連携して実習が展開できる有益な成果を収めた。



《現場見学》

- 内容** 建設工事現場見学
- 成果** ①地域に密着した建設工事現場の見学で、社会基盤整備の必要性、土木技術の素晴らしさを理解し、就業意欲の向上と、専門教科への取り組みの意欲がさらに増した。
②事前に建設現場見学オリエンテーションや建設現場安全教育の実施により、安全意識の向上が図られ、積極的な観察力と的確に疑問を投げかける能力も向上した。

《教員研修》

- 内容** ①建設技能安全作業（地山掘削・土留め支保工）研修 ②安全リスクアセスメント研修 ③CAD研修
- 成果** ①企業現場レベルの安全管理を理解することができた。
②総合的な連携推進体制が充実し、今後の継続的な教育活動の展開に向けて自立化につながるプログラムができた。
③就職に対して教員がこれまで以上に幅広く捕らえられるようになり、進路指導においても幅ができた。

- 連絡先 ◇ 長崎県教育委員会高校教育課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL:095-894-3354 FAX:095-824-5965 URL:<http://www.pref.nagasaki.jp/koukou/>
- ◇ 社団法人長崎県建設業協会
〒850-0874 長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館3階
TEL:095-826-2285 FAX:095-826-2289 URL:<http://www.ngsk-kenkyou.or.jp/>